

## 8 ウミヒメカノコ

(アマオブネ科)

兵庫県ランク:A

*Smaragdia* sp.

環境省ランク:VU

### 種の概要

伊豆半島から南西諸島に分布し、内湾の湾口部の低潮帯から水深40mの砂底、砂泥底の海草藻場に生息する。特にウミヒルモが繁茂する環境に多い。殻径4mm前後。殻は球形で螺塔は低い。殻表は平滑で光沢があり、灰色の地色に黒色の細い稲妻状の縦縞があるとともに、等間隔に密に並んだ黒色の短い縦縞が2帯ある。模様の変異は少ない。殻口や滑層面は白色で、新鮮な個体では滑層面の外偏りに黄色斑がある。軸唇には不規則な弱い歯がある。触角はキンランカノコ(貝類Aランク)に比べ長く殻径を超える。

### 主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○	○		○

### 県内分布

洲本市、淡路市

### 県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。淡路島北部、中部の2箇所と比較的多くの死貝が得られていたが、ともに産地は埋め立てにより消滅した。近年、洲本市の内湾干潟のアマモ葉上で生貝が確認された。本種は主に潮下帯のウミヒルモが繁茂する環境に生息し、ウミヒルモの葉上に付着した状態で得られることがあり、ウミヒルモの葉を食べていることが観察された。一時期比較的多く得られたが、ウミヒルモの減少に伴い激減した。

### 保護上の留意点

黒潮の影響する内湾的環境下に現存するアマモとウミヒルモの保全と、消失地における再生が必要である。



写真提供：川渕千尋



写真提供：増田修

【執筆者】 川渕千尋